



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.38 August 10, 2013

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。



第38回研究発表会

ジョークの中の X-ism

—Malapropism と Goldwynism—

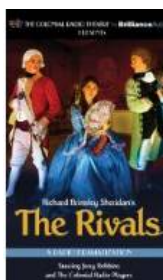
豊田 一男

ジョークを言う人、シャレを飛ばす人はそれがジョークであり、シャレであることを意識して、笑いを誘うことを狙っているのが普通である。しかし、時に、本人はその気がなくても、結果としてジョークになったり、シャレになったりする場合がある。

今回取り上げた Malapropism と Goldwynism はまさにそれである。

(1) malapropism: マラプロピズム：言葉のこっけいな誤用で、特に発音が多少似ている語の取り違えを言う。郡司(1984)はこれを「はき違い」と呼んでいる。

R. B. Sheridan (1751-1816) の劇 *The Rivals* (1775) に登場する老婦人 Mrs Malaprop から作られた語で、夫人の名前自体が「不適切に」を意味するフランス語からの造語。



• He is a very **pineapple** [pinnacle] of politeness!

(彼は礼儀正しさのパイナップルね。)

★「パイナップル」⇔「頂点」の取り違え。

• I have since laid Sir Anthony's **proposition** [proposition] before her.

(私はそれ以来アンソニー卿の前置詞を彼女の前に示してきましたわ。)

★「前置詞」⇔「提案」の取り違え。

• He's as headstrong as an **allegory** [alligator] on the banks of the Nile.

(彼はナイル川の岸にいる寓意のように頑固ね。)

★「寓意」⇔「ワニ」の取り違え。

次は夫人の後継者とも言うべき人たちの言葉で、市長、州議会議員などの言葉：

• It is beyond my **apprehension**. [comprehension]

(それは私の不安を超えている。)

★「不安」⇔「理解」の言い違い。

• He is a man of great **statue**. [stature]

(彼は大きな彫像の人だ。)

★「彫像」⇔「身長」の言い違い。

• I cannot tell you how grateful I am —I am filled with **humidity**. [humility]

(どれほど感謝しているか言葉では言えません。私は湿気で一杯です。)

★「湿気；湿度」⇔「謙虚」の言い違い。

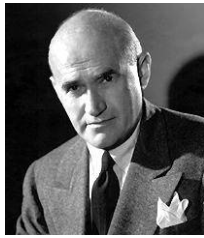
• It is a proven fact that capital punishment is a **detergent** to crime. [deterrent]

(死刑が犯罪の洗剤であることは証明されている事実である。)

★「洗剤」⇔「抑止力」の言い違い。

(以上 Price, Steven D. (2006))

(2) Goldwynism: アメリカの映画製作者 Samuel Goldwyn (1879-1974) の残した言葉として知られている。



• Give me a couple of years, and I'll make that actress an overnight success.

(2, 3年くれれば、あの女優を一夜にして成功させてみせる。)

• The scene is dull. Tell him to put more life into his dying.

(その場面はつまらん。あいつに死ぬことにもっと命を注げと言ってやれ。)

• If people don't want to go to the picture, nobody can stop him.

(人々が映画に行きたがらないなら、誰も止められない。)

★“him”は“them”のはず。

• I don't think anyone should write his autobiography until after he's dead.

(誰も死んだ後までは自伝を書くべきではないと思う。)

• Gentlemen, for your information I would like to ask a question.

(諸君、知らせたいことがあるので、ひとつ質問させてくれ。)

• It's an impossible situation, but it has possibilities.

(不可能な状況だが、可能性はある。)

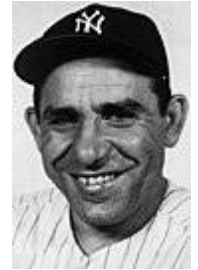
• Walking out of a conference of movie producers considering plans to negotiate with one of the unions: “Gentlemen, you can include me out.”

(ある組合と交渉する計画を考えている映画製作者の会議から出て行きながら「諸君、ぼくは入れて外してくれ。」(郡司(1984)))

★Count me out (私は除外してくれ)のつもりだった。

(3) Yogi Berra (1925-):

アメリカメジャーリーグの往年の名捕手で、ニューヨーク・ヤンキース、ニューヨーク・メッツの監督も務めた。



Malapropism より Goldwynism の系統と言える。“Yogism”と呼ばれることもあるようだ。

• If the fans don't want to come out to the ballpark, you can't stop them.

(ファンが野球場に来たがらないのなら、止めることはできない。)

• I never blame myself when I'm not hitting. I just blame the bat, and if it keeps up, I change bats. After all, if I know it isn't my fault that I'm not hitting, how can I get mad at myself?

(打てないとき、自分を責めたりは決してしない。バットを責めるだけだ。それが続くようならバットを取り替える。結局のところ、打てないのは自分が悪いのではないから、何で自分に腹など立てられようか。)

★実に幸せな人である。

• Mickey Mantle can hit them with the left and the right. He's completely amphibious.

(ミッキー・マントルは左でも右でも打てる。あいつは全く水陸両用だ。)

• He can run any time he wants. I'm giving him the red light.

(あいつは好きなときいつでも走れる。あいつには赤信号を出すだけだ。)

★いつでも盗塁して OK という the green light のつもりらしい。

• A game isn't over till it's over.

(試合は終るまで終らない。)

• This is the earliest I've ever arrived late!

(今日は今まで遅れた中で一番早かった。)彼は遅刻王だったらしい。

• He sure did make a wrong mistake!

(あいつは間違った間違いをしでかした。)

• I didn't say everything I said!

(言ったこと全部言ったわけじゃない。)

★言いたいことの半分だったと言いたかった。

• I'm not going to stay in that hotel again. The towels were so thick there I could hardly close my suitcase.

(あのホテルには二度と泊らないつもりだ。タオルが厚すぎてスーツケースを閉められないほどだった。)

★これはジョークのつもりだったと思われる。

• You should always go to other people's funerals; otherwise, they won't come to yours.

(他人の葬式には必ず行くべきだ、さもないと君のには来てくれないだろう。)

(4) Dan Quayle (1947 –): 第 41 代合衆国副大統領 (大統領は H.W. Bush (1989–1993))。



“Dan Quayle”をネットで調べると“Famous Dumb Quotes”の類が数多く出てくる。副大統領時の仕事ぶり、業績は忘れ去られても、残した迷言は語り継がれていく。彼もマラプロップ夫人の子孫であり後継者であり、Goldwyn の兄弟と言えよう。

• One word sums up the responsibility of any vice-president, and that word is “to be prepared.”

(副大統領の責任を一言で要約すれば「準備している」だ。)

★大統領が亡くなると副大統領が後を継ぐことになる。「もし」が起こっていたらアメリカはどうなっていたらと想像したくなる。

• The President is going to lead us out of this recovery.

(大統領は我々をこの回復から導き出してくれるでしょう。)

★どこへですか、と聞きたい。

• No comment, but don't quote me.

(ノーコメント、だけど引用しないでくれ。)

★日本の政治家にもありそうな台詞。

• It is time for the man race to enter the solar system.

(今こそ人類が太陽系に入っていく時だ。)

★今までどこにいたのか、と聞きたくなる。

• A low voter turnout is an indication that fewer people are going to the polls.

(低い投票率は投票に行く人が減っていることの表れだ。)

• We are ready for any unforeseen event that may or may not occur.

(我々は起こるかも起こらないかもしれない予測不可能な出来事に準備ができています。)

• Who is responsible for riots? The rioters! (暴動の責任は誰にあるのか。もちろん、暴徒にある。)

• If we don't succeed, we run the risk of failure.

(成功しないと失敗の危険を冒すことになる。)

• A zebra cannot change the spots.

(シマウマは斑点を変えられない。)

★A leopard cannot change his spots. (豹は自分の斑点を変えることはできない。) ということわざの取り違い。

• I am sorry that I cannot address people of Latin America in their own language, which is Latin.

(ラテンアメリカの人々に彼らの言語であるラテン語で話しかけられないのが残念です。)

• I love California—I practically grew up in Phoenix.

(私はカリフォルニアが好きです—私は実はフェニックス育ちなのです。)

★フェニックスはアリゾナ州の州都。

• The best thing about rain forests is that they never suffer from drought.

(雨林の一番良い点は干ばつに悩まされないことです。)

・ It isn't pollution that is harming the environment. It's the impurities in our air and water that are doing it.

(環境を害しているのは公害ではありません。それをしているのは空気や水の汚れなのです。)

★それでは公害とはなんですか。これでも副大統領は務まるのでしょうか。

【参考書目】

・ Esar, Evan (1978), *The Comic Encyclopedia* (Doubleday & Company)

・ Price, Steven D. (2006), *1001 Funniest things Ever said* (Lyons Press)

・ Rosten, Leo (1994), *Leo Rosten's Carnival of Wit* (A Plume Book)

・ 郡司利男 (1984) 『ことば遊び 12 講』 (大修館)

第18回 ジョーク・コンテスト

MC の記

村井 久美子



第18回ジョーク・コンテストには25の出題がありました。今回の特徴は、イラストの中に文言があり、イラストを含めてジョークになっているものがいくつかあったことと、票が割れ、僅差で一位から三位が決まったことです。

個人的には初めて司会を担当させて頂き、同じ部屋なれど、部屋の前から見る風景と後ろから映像をみる風景ではこんなにも違いがあるのかと、改めて認識しました。

今回も前回同様用紙を配り、まずは映像を見な

がら文章を読み上げていき、一回目の投票を行う方法を取りました。本来でしたら何もコメントをつけないのですが、イラストそのものがジョークの一部になっていたものもあり、一部解説が必要でした。

少し時間をおいて、コメント、意見交換、解説などをし、二回目の投票をしました。二回の投票で獲得数の多い順に1-3位を決めていきました。

一位は出品者草野さんの15票！ 二位は出品者小池さんの10票！ 三位は出品者長谷川さんの9票！でした。

一位は新婚カップルが注文したサラダの中身についてのものでした。レタスだけのサラダ。レタスは英語で lettuceで、Let us aloneと音をかけているジョークでした。誰もが、一度は私もレタスと思ったことがあるわと思われたのではないのでしょうか？

このような可愛い新婚さんのジョークもありますが、三位になった13番やその他21番、22番、23番、25番のような、愛情が冷めていく様を皮肉っているものの出題が多く、笑いを取ります。

長い人生、二位を獲得した20番の silk worms のようにならないのが判明するのでしょうか？ 男女の仲はなかなか一筋縄ではいかないようです。

今回の出題を通し、イラストの持つ重要性や11番の歴史や人物のことをしっかり把握していないと、なかなかわかりにくいものがあると思いました。また紅茶が好きで、どうしても4番のティーバッグが気になり調べてみました。品格のガイドラインに触れるかの判断が微妙なので、ご興味がある方は、インターネットで「世界の英語方言スラング大辞典」を検索し、Tのセクションの teabag をクリックしてください。

どうぞよろしく = 新入会員紹介 =

野沢智子 さん (相模原沢市中央区)

1. 私にとってジョークとは :

笑いの少ない家庭で、親の目を盗んで見た吉本や松竹のお笑い番組は、私にとっては、男性にとっての 18 禁書のようなものでした。ジョークとは、自分を解放してくれ、他の人との楽しい時を与えてくれるものです。

2. 私の好きなジョーク :

改めて考えると、好きなジョークとして紹介するには憚れるようなブラックジョーク系が好きなようです。(^-)

第 19 回ジョーク・コンテスト出品募集

● 要領 :

1. 語数は、**20 WORDS** を上限とします。これを上回る場合には、エントリーを認めないこともあります。ピリオド・コンマ・引用符・?・!を除き、20 語に厳守します。

2. 出品数は**お一人二題まで**とします。

二題出品の際には、第一応募、第二応募の別を明記してください。第一応募のものはエントリーしますが、第二応募のものは MC の判断によって、エントリーしないこともあります。これは全体のエントリー数を調整し、時間内に楽しい討論を十分できるようにするためです。

3. 「艶物ジョーク」は、エレガントなものに限ります。これに抵触する場合には、エントリーを認めないこともあります。

4. 必要と思われる場合には、注釈・イラスト・写真などを添えてくださってもかまいません。

5. コンテストは、**2013 年 9 月 21 日(土)**の研究発表会で行われます。

6. 結果は *We, Jokers* No.39 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。

7. 当日出席しない方も応募できますが、つとめて出席されるようお願いいたします。

● 宛先 : jlweb-renraku@eigojoker.com

● 締め切り : **2013 年 9 月 8 日(日)**

J L C 第 39 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

● 日時 : **2013 年 9 月 21 日 (土)**
14 : 00 ~ 16 : 00

● 会場 : **日本近代文学館** (2 階会議室)
(東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内)
電話 : 03-3468-4181

● 交通 : 京王井の頭線「駒場東大前」駅 (渋谷駅

から二つ目) 徒歩 7 分。地図は、「日本近代文学館」の HP をご検索ください。本館は目黒区の施設である広大な「駒場公園」の中にあり、道に迷うこともありがちです。その際には、ご遠慮なく、館にお電話してお訊ねください。

● プログラム

① 「続・科学技術の進歩にまつわるエピソード」

発表 = 服部陽一 会員

② 第 19 回ジョーク・コンテスト

司会 = 小池 温会員

参加費 : 会員・非会員とも **1,000 円**

● 連絡先 : jlweb-renraku@eigojoker.com

HUMOROUS DEFINITIONS

-Longman Active Study Dictionary of English-
anus the hole in the body through which solid food waste leave the bowels

bedpan a low wide vessel used by a sick person for emptying the bowels without getting out of bed

bidet a kind of small low bath on which one sits to wash the lower parts of the body

condom a rubber covering worn over the male sex organ during sexual intercourse, used as a means of birth control and/or a protection against disease

WE, JOKERS No.38

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日 : 2013 年 8 月 10 日

発行人 : 世話人代表 宮本倫好

編集人 : 佐川光徳

問合せ先 : jlweb-renraku@eigojoker.com